

食の感動で、この星を満たせ。

TORIDOLL→

News Release

2026年2月17日

トリドールHD、「心的資本経営」を推進する取り組みとして 子育て中の従業員約6,000名を対象に「家族食堂制度」を開始 ～家族とのつながりを企業として支え、従業員の“心”的幸せを高める～

「心的資本経営」を原動力に、世界中へ食の感動体験を提供する株式会社トリドールホールディングス（東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO 粟田 貴也、以下、トリドールHD）は、当社が掲げる「心的資本経営」の実践の一環として、2026年2月18日より従業員のお子さまを対象とする「家族食堂制度」を、丸亀製麺をはじめとしたグループ5ブランドで開始します。今回の新制度は、従業員とその家族を企業として支えることで、働く一人ひとりの幸福感を高め、その想いがお客様への感動体験として広がっていく好循環の起点となることを目指します。

【家族との時間を企業が支える「家族食堂制度」を5ブランドで導入】

従業員が家族とともに食事をする時間を大切にし、子育てや食事づくりの負担を軽減することで、働く従業員が安心して働く環境を支え、家族にとっても身近で親しみのあるお店を目指します。

その取り組みの一環として、対象ブランドの全国の店舗で、従業員の中学3年生以下のお子さまの食事を会社がサポートする新たな福利厚生制度「家族食堂制度」を開始します。本制度は、家族との団らんの時間づくりや従業員の子育て支援、職場への理解を深めるきっかけとして導入するもので、今後は他ブランドへの展開も視野に入れています。

- ・制度開始日：2026年2月18日
- ・対象ブランド：丸亀製麺、天ぷらまきの、やきとり屋とりどーる、長田本庄軒、豚屋とん一
- ・対象者：各ブランド店舗で働く従業員とそのお子さま（中学3年生以下）
- ・内容：丸亀製麺ではお子さま一人につき月額最大1万円の食事支援。その他対象ブランドでは月額最大5千円の食事支援。^{※1}

■ 「心的資本経営」について

トリドール HD が推進する「心的資本経営」とは、「従業員の“心”的幸せ」と「お客様の“心”的感動」を共に重要な資本ととらえ、どちらの“心”も満たし続けることで持続的な事業成長を実現する新たな経営思想です。

従業員が幸福感（ハピネス）を持って働く環境が整うことで内発的動機が育まれ、その力が顧客に感動（カンドウ）体験を生み出し、その感動が店舗の持続的な繁盛へとつながります。成果を従業員に還元することで再び幸福度が高まり、感動体験がさらに深化する好循環が生まれます。この好循環をトリドール HD では「ハピカン繁盛サイクル※2」と定義しています。

トリドールグループは、心的資本経営を基盤に、従業員の内発的動機を高め、唯一無二の感動体験を創造し続けることで、世界中に食の感動を届けてまいります。

※1 利用条件はブランドごとに異なります。店舗で利用できる月額相当の食事券を配布し、食事支援を行います。

※2 従業員の幸福感（ハピネス）とお客様の感動（カンドウ）の循環

■ 心的資本経営サイト

<https://www.toridoll.com/management-philosophy/happiness-capital-management>

■ トリドール HD 公式 note アカウント

<https://note.com/toridollholdings>

トリドールホールディングスについて

「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、さまざまな業態の飲食チェーンを展開し、味覚だけでなく五感が揺さぶられる、本能が歓ぶほどの感動を探求し続けています。

トリドールグループは「心的資本経営」を原動力に、従業員の“心的幸せ”とお客様の“心的感動”を生み出し、持続的な事業成長を目指しています。

今後も「食の感動体験」をどこまでも追求し、世界中で唯一無二の日本発グローバルフードカンパニーを目指して、予測不能な進化を遂げるため、国内のみならず海外での展開を積極的に推進してまいります。